

自分の行動に責任をもって

新春座談会

市長と

新成人語る

1月9日の「成人祝賀式」を前に、秋岡市長を囲んで今年成人になる6人の皆さんに、今後の抱負や市政について語ってもらいました。



- 【出席者】**
- 牧野優子さん (学生・落合町阿部)
 - 仲田真子さん (学生・津川町八川)
 - 田中靖泰さん (会社員・有漢町有漢)
 - 継山仁之さん (学生・成羽町成羽)
 - 薬師寺恵加さん (会社員・川上町仁賀)
 - 竹中宏子さん (団体職員・備中町西油野)
- (成人祝賀式の企画をした皆さんの中から、6人の方に出席いただきました。)
- (会場) 成羽町美術館

市長 今日は、お集まりいただきありがとうございます。まず最初に、成人を迎えられるにあたってお祝いを申しあげます。新成人として夢と希望を持ち、若い力で活躍されることを期待します。

昨年10月1日に新しい高梁市が



仲田真子さん

誕生しました。新市にどういったことを期待されているのか。そうしたことも伺いたいと思います。



薬師寺恵加さん

20歳への思い

市長 まずは、20歳を迎えるにあたっての感想は。

竹中 20歳になったという実感はあまりありませんが、選挙権が与えられるので大人の仲間入りをしたのかなと思います。

継山 まだ学生なので、社会人になってから実感がわくのでは。

薬師寺 働いていますが、親に頼っている面が多く、少しでも自立したいですね。

田中 お酒を飲み、タバコも吸えるので大人になったと感じます。

仲田 学生で親に頼っている面が多いですが、将来は看護師として社会に貢献できるように頑張りたいです。

の勉強をしていました。一生懸命働けば何とかかなる、早く就職したいという気持ちでした。わりと好奇心も旺盛な方でお金を何とか捻出して遊んだり、旅行したりしていました。学生だったので時間があつたんです。働いているとそうはいきませんが、学生の皆さんには長期の休みもあるので、時間を自分のためにフルに使ってほしいと思います。

高梁市について思うこと

仲田 高梁市は学生のまちですが、遊ぶ場所やアルバイト先、電車の本数が少ないのでは。

市長 学生の皆さんが高梁でどう過ごし、どういう時間を費やしておられるのか、また、交通の便や時間の過ごし方、アルバイト先がないなどについて、もっと勉強しますので教えてください。皆さん



継山仁之さん



竹中宏子さん



牧野優子さん



田中靖泰さん

牧野 私は学生ですが、社会にでたら自分の行動に責任を持てる大人になりたいです。

市長 学生の方すでに社会に出て活躍されている方、それぞれ立場が違い、感じることもさまざまですが、20歳を迎えるからといって、特にあなた自身やまわりの環境が変わるわけではないでしょう。大事なことは、人生においての一つの節目を迎えたということです。あなた自身がこの節目に何らかの意識を持つということ。これだけでも成人を迎えた意義があると思います。

また、経済的にはどうであれ、精神的に自立してほしいですね。社会に出ると、その社会の一員となるわけですが、一人ひとりの幸せがあつてのものです。自分の意志をもって揺るがないよう行動してほしいですね。

の要求には、市として前向きに応えていきたいと思っています。

牧野 合併して高齢者の人口が増えましたが、この先若い世代が高梁市にずっと住めるような環境づくりをどう考えますか。

市長 住んでいただくためには、まず働く場所が必要です。そのためのサポートが市の役割です。例えば、企業誘致や現在事業展開している事業所等を拡大するなど、働ける場所を少しでも増やせるように努力します。商工業に限らず農業などいろんな分野で働いてもらいたいと考えています。

また、高齢化率は30%を超えています。暗いイメージで受け止まず、元気なお年寄りが多くて、活気があるまちだといわれるような地域づくりをしたいと思っています。学生の皆さんなど、お年寄りが交流できる場もつくってほしいですね。